

## M. H. 英語英文学科・3 年次

### I. 留学レポート

#### ① 留学決定から出発までの準備期間

海外ドラマや洋画をリスニングのように観ていました。留学先の大学から同女に留学してきた留学生がいたので、現地の大学の様子やカナダについて色々聞きました。ビザの申請も留学先大学からの留学許可書が届き次第、すぐに申請できるように前もって書類の準備をしていました。

#### ② 現地到着後

初めて自分ひとりだけで飛行機に乗ったので、とても不安でした。バンクーバー空港からビクトリア空港までの飛行機は、今まで乗ったことがないくらい小型の飛行機で、驚きました。空港に着いたら、ホストママが私の名前を書いたポスターを持って待っていてくれました！！ビクトリアに着いた翌日には、学校のオリエンテーションがあったので、かなりハードスケジュールでした。学校が始まって1週間ほどは、ホストママが車で学校まで送り向かえしてくれました！オリエンテーション期間は、本当に多くの留学生と会う機会がありました。クラス分けで違うクラスになっても、オリエンテーションの時に仲良くなった友達と遊びに行くことが多くありました。

#### ③ 語学研修期間 (ESL, Academic Skills Study)

##### ◆ 語学研修先の施設・環境について

語学研修のクラスは、オリエンテーション期間に受けたテストの結果でレベル分けがされていました。また、午前と午後でクラスが分かれていました。Academic か General のコースのどちらかを自分で決めることができました。私は、Academic を選択し、午後クラスでした（午前中にも Academic はあったようです。）クラスでは、日本人が私1人だけでしたが、毎日楽しく学校に通うことができました。クラスで仲良くなったトルコの友達とは、PJ パーティをしたり、お買い物やご飯を食べに行ったり、たくさん遊びました！！クラスメイトからは、私たち2人は sisters と呼ばれるくらい仲良くなりました！午後からのクラスだったので、天気の良い日はクラスメイト達と芝生の上で一緒にお昼ご飯を食べたり、クラスメイトのお家に遊びに行ったりと、クラス全体の雰囲気がとてもよかったです！

##### ◆ 授業内容、課題、試験

Academic コースだったので、文法やレポートの書き方を中心に勉強しました。定期的にプレゼンテーションもありました。様々な意見や考え方に触れることができ、本当に良い経験でした。Mid-term や final では、プレゼンテーションや writing のレポートが重なって大変でした。リスニングのテストは、パソコンを使って行うことが多かったです。週1回

は、選択クラスで自分の好きは授業が選択できました。ただ、午後クラスは、選択クラスが午前中にあったので、早起きをするのが大変でした。私は、イディオムと音楽のクラスを選択しました。音楽のクラスの方は、語学研修後のパーティでダンスと歌を披露しなければならなかったもので、後半の授業はダンスの練習を中心に行いました。

#### ④ 正規科目履修期間

##### ◆ 大学の施設・環境について

授業中に、最前列に座っていても生野菜や、ひまわりの種を食べている学生がいたことに、とても驚きました。しかし、どの学生も真剣に授業を聞いていました。有名な Uvic のウサギは激増のため処分されたらしく、ほぼ見ることはできませんでした。その代わりに、鹿やリスをよく見かけました。芝生が多くあるので、天気の良い日は、多くの学生が芝生の上で日向ぼっこや勉強をしていました。

##### ◆ 履修科目（決定までのプロセス、具体的に履修した科目名とその内容）

〈Anthropology〉人種やホームレスについて勉強しました。読み物が多くあり、Final にはテストやプレゼンテーションに加えて、レポート提出もありました。

〈Environmental Study〉世界の環境を“食”という観点から学びました。講演者を招いて授業することが多くありました。少人数クラスでは、ビクトリアにしかない植物を見て回る校内ツアーがありました。

〈Sociology〉主にカナダの社会構成について学びました。少人数クラスでは、毎週、レポートを1枚提出しなければなりませんでした。

〈English099〉英語を第2言語としている学生のための授業です。単位は習得できませんが、週に2回はWeb上で文法やwritingのテストがありました。

どの授業も最終決定するまで、留学サポートセンターの先生に相談して決めました。講義だけの授業にせずに、少人数クラスも積極的にとるようにしました。

##### ◆ 授業、レポート、定期試験

レコーダーを買って講義を録音して、聞き逃したところを家に帰ってから復習できるようにしました。先生によっては、少しの文法ミスでもレポートの減点対象にするので、ホストママにレポートを見てもらってから提出しました。試験は、先生によって辞書の使用を許可してくれたり、私だけ特別に試験の部屋を確保して試験時間を延長してくれたりしました。先生に相談することが大切だなと思いました。どの先生も本当に親切で、分からないところがあれば、office hourを利用して、よく質問に行きました。

#### ⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

留学生のためのサークルに入りました。イベントがたくさんあって、世界各国の友達をつくることができました。また、イベントを通して、同じ授業をとっている友達を見つける

ことができ、試験前には一緒に勉強をしたりしました。

留学生が主体となってボランティアをする Exchange for change という団体に入りました。7人くらいの少人数の留学生で結成されました。自分たちで支援するボランティア団体を決めて、募金活動を行いました。毎週 1 回、話し合いがありました。半期で 2 回の募金活動を行い、集まったお金をボランティア団体に手渡しました。街中にポスターを貼ったり、学校内でチケットを売ったり等、貴重な体験ができました。

## ⑥ 現地での住まいについて

ホームステイに滞在するのは語学研修期間までで、正規科目履修期間は、学校の寮に入らなければならない仕組みでした。しかし、そのことをホストママに伝えたら、『あなたがいたいだけ、家にいていいよ。』と言ってくれたので、私は寮の予約をキャンセルして、9 か月間ずっと同じホストママの家に滞在しました。また、寮に滞在している留学生から、夜中にピンポンダッシュや火災報知機が鳴る等、苦労していると聞いたので、ホームステイをしていて良かったなと思いました。ルームメイトにベネズエラから来た留学生がいましたが、通う大学も違っていたため、同じ家に住んでいても会うことはあまりありませんでした。機械に詳しくなかったので、無線ランのつなぎ方等、いろいろ助けてもらいました。バスルームはその子と共同でしたが、使い方が汚かったので、よく掃除をしました。本当に素敵で優しくて、最高のホストママだったのでホームシックには全くなりませんでした。ホストママが大量の DVD を持っていたので、よく一緒にアイスクリームを食べながら映画を観ました。ホストママがクリスチャンだったので毎週日曜日には一緒に教会に行きました。教会でも、みんながとても優しくしてくれました。長期休暇中には、ホストママの娘さんのお家に 1 週間遊びに行ったり等、本当の娘のように扱ってくれました！！お料理も上手なホストママだったので、朝ご飯とお昼ご飯を自分で作る以外は、ほぼキッチンに立っていません！（留学して 2 週間ほどは、ホストママが朝ごはんとランチを準備してくれていました。）自分のお気に入りのシリアルもホストママが覚えてくれたので、補充してくれていました。本当に恵まれたホームステイ先だったと思います。学校には、バスで 20 分くらいかかりましたが、バスも定期的に来るので特に困りませんでした。

## ⑦ 長期休暇の過ごし方

夏の長期休みに、日本から友達、お母さんと妹が遊びに来てくれました！どちらも 1 週間の滞在期間でしたが、その間もホストママが『空いているお部屋で泊っていいよ。』と言ってくれたので、みんな、ホストママのお家に泊りました。私は、1 カ月だけビクトリアに留学しに来ていたケベックのルームメイトを訪ねるために、1 人でケベックに遊びに行きました！約 1 週間、ルームメイトのお家でお世話になりました。本当に楽しかったです！トロントで飛行機を乗り換える時に、時間があったので、トロントで語学研修をしていた

同女の友達に会うことができました！シアトルに遊びに行ったときにも、偶然、同女のチームアメリカで頑張っていた友達に会うことができました！久しぶりに同女の友達に会えてとても嬉しかったです！また、Reading break は、友達とサンフランシスコとロサンジェルスに旅行しに行きました。夏と冬の長期休みには、ホストママの娘さんのお家へ 1 週間ほど遊びに行きました。

### ⑧ 留学期間中の就職活動の取り組み

全く手をつけていませんでした。留学前のオリエンテーションでも、キャリアサポートの方が、『留学でしかできないことを楽しんでください！』とおっしゃっていたので、留学生活を思う存分楽しみました。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

何度も書きますが、本当にホストママが最高のママだったので、毎日毎日がとても楽しかったです！！また、友達もたくさんできたので、本当に充実した留学生活を送ることができました！！どれも本当に素敵な思い出なので“1番”という思い出は決められません。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

正規履修科目期間で、予習・復習・課題をすべてこなしていくことがとても大変でした。授業前に読まなければならない教科書のページ数が、50ページ以上。それプラス、レポート提出。という状況が多々ありました。図書館で勉強する場所を変えたり、芝生の上で勉強してみたり等、気分転換を行いながら乗り切りました。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

上記にも挙げましたが、授業中に生野菜やヒマワリの種を食べている学生にはとても驚きました。ホームレスではないような、きれいな身なりをした人が道端に落ちているタバコを拾って、そのタバコを吸う光景にも、衝撃を受けました。キャンパス内をスケートボードに乗って移動する人が多いことにも、驚きました。

## III. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、自然が豊かというだけではなく、ダウンタウンにも学校から、バスで25分ほどでいけることです。静かな学習環境が整っていますが、遊べる場所も近いところがUvic のいいところだと思います。また、先生たちの対応もとても優しいので、授業に対する不安は解消されると思います。留学生のサポートセンターのスタッフの方たちも親切な人ばかりなので、留学を十分楽しめると思います。図書館も夜遅くまで開いていますし、

日本よりも Wi-Fi の技術が進んでいるので、好きな場所で勉強できるのも魅力だと思います。悪かった点は、ほぼ見当たりません。

**② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）**

パソコンを持って行って、とても重宝しました。どこの大学もそうだと思いますが、学校内のパソコンは、ほぼ学生で埋まっています。

4－6月でも寒い日が多かったので、ヒートテックは必需品でした。

**③ 語学力の向上等、留学の成果**

TOEIC の点数は、思ったほど向上しませんでした。英会話のテンポやリスニング力は伸びたと思います。

**④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス**

自分の人生で大きな決断になると思いますが、留学を悩んでいるのであれば、留学に挑戦した方がいいと思います。留学しないと分からないことや、留学したからこそできること等、数え切れない経験ができると思います。「やらないで後悔するよりも、やってから後悔した方がいい」という言葉がありますが、本当にその通りだと思います。

“A journey of a thousand miles must begin with a single step.”

**IV. 写真**



語学研修の時のクラス写真です！

和気あいあいとして、本当に楽しいクラスでした！